

相模原市立公文書館第19回企画展 「広報さがみはら写真ニュースと歴史的公文書で迎えるさがみはらの出来事」

当時の出来事や話題を写真で紹介する「広報さがみはら写真ニュース」（市立公文書館所蔵広報的資料）で取り上げられた相模線と淵野辺公園、相模原麻溝公園に関連する出来事を歴史的公文書などで迎える企画展を開催しますのでお知らせします。

1 開催期間

令和3年10月29日(金)～12月24日(金) 午前8時45分～午後5時

※休館日は土・日曜日、祝日です。展示解説を開催する土曜日は開館します。

※次のとおり公文書館職員による展示解説(公文書館トーク・トーク)を行います。
希望する方は直接会場へお越しください。

開催日時 令和3年11月6日(土)、12月4日(土) 午後2時～午後3時

2 開催場所

相模原市立公文書館 (緑区久保沢1丁目3番1号 城山総合事務所第2別館3階)

3 内容

テーマ①「開業100年、全線開通90年。相模線」

相模線に関する昭和3(1928)年の橋本駅開通に向けた相原村での取組から開通後の沿線市町における電化複線化の取組などの出来事を歴史的公文書で紹介します。

テーマ②「返還から市民の憩いの場へ」

キャンプ淵野辺と座間小銃射撃場の返還から、市民利用の施設となった弥栄小学校の開校や淵野辺公園、相模原麻溝公園に関連するさがみはらの出来事を歴史的公文書で紹介いたします。

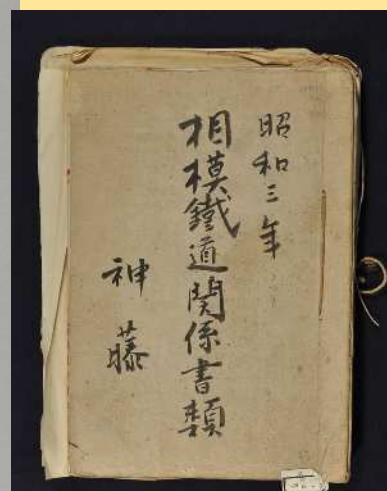
問い合わせ先
直通電話 042-783-8053
公文書館 樋口一美

相模原市立公文書館第19回企画展

広報さがみはら写真ニュースと 歴史的公文書で迎えるさがみはらの出来事



相模線橋本駅のディーゼルカー〔出典：相模原市史現代図録編〕



相模鐵道関係書類(昭和3年)
〔歴史的公文書〕

令和3年

開催期間

10月29日(金)～12月24日(金)

開催時間

午前8時45分～午後5時

◇休館日は土・日、祝日です。なお、公文書館トーク・トーク（展示解説）の開催日は開館します。

（開催日時：11月6日(土)・12月4日(土) 午後2時～午後3時）

開催場所

相模原市立公文書館

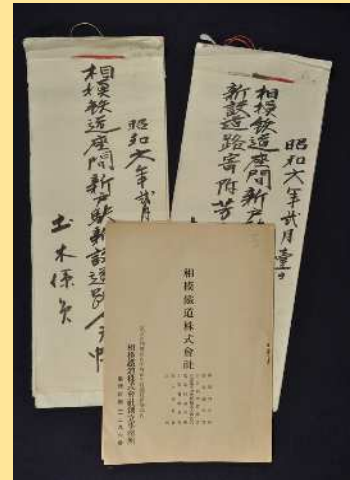
電話042(783)8053

当時の出来事や話題を写真で紹介する広報さがみはら写真ニュース（市立公文書館所蔵広報的資料）で取り上げた相模線と淵野辺公園、相模原麻溝公園での出来事を所蔵する歴史的公文書などで辿ります。

開業100年、全線開通90年。相模線

開業100年を迎えた相模線は、相模鉄道による私鉄線として、大正10（1921）年に茅ヶ崎駅—寒川駅間が開業しました。その後、厚木駅までの延伸を経て、昭和6（1931）年には、厚木駅—橋本駅間（18.7km）が延伸開業し、全線開通しました。

昭和3（1928）年の橋本駅開通に向けた相原村での取組から開通後の沿線市町における電化複線化の取組などの出来事を紹介します。



相模鉄道関係書類(博物館資料)

返還から市民の憩いの場へ—淵野辺・麻溝公園

現在、市立弥栄小学校や淵野辺公園、市立博物館などがある一帯は、むかし「キャンプ淵野辺」という米軍基地でした。

また、麻溝台には米軍施設の「座間小銃射撃場」があり、返還地には県立相模原公園が開園しています。

返還後の地元利用第1号として開校した弥栄小学校をはじめ、博物館や隣接する「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）」が縁となり交流を開始した「銀河連邦」など、関連する出来事を紹介します。

また、相模原麻溝公園は、隣接する県立相模原公園と一体的に整備され、平成4（1992）年には、両公園を会場に第9回全国都市緑化かながわフェア〔グリーンウェーブ相模原'92〕が開催されました。

座間小銃射撃場の返還とその地元利用への取組から相模原麻溝公園での催しや開園同年に締結した友好都市など、関連する出来事を紹介します。



広報さがみはら写真ニュース第72号
(広報的資料)

相模原市立公文書館

〒252-5192

相模原市緑区久保沢1-3-1
城山総合事務所第2別館3階



【アクセス】橋本駅北口からは「橋01 三ヶ木」行き、南口からは「橋08 若葉台住宅」行きのバスが多く出ています。三ヶ木方面からは橋本駅行きバスを利用、「城山総合事務所入口」で下車、徒歩3分。
※ご来館の際は、マスクの着用など新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力をお願いします。